

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 村下 伯	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	80歳20本の歯推進事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	8020 (80歳で20本以上の歯を残す) を達成する	
事業概要	「島根県歯と口腔の健康づくり計画」に基づき、総合的な歯と口腔の健康づくり施策を推進する ①歯科保健推進協議会、圏域歯科保健連絡調整会議の開催 ②県民の奥歯総点検事業 ③多様な手法を用いた住民への知識の提供（親子のよい歯のコンクールなど） ④事業所における歯科保健対策の拡大 ⑤高齢者、障がい者に対する歯科保健指導の実施体制の整備（高齢者の低栄養予防対策） ⑥市町村への歯科保健事業のおける支援（口腔機能維持管理研修など）		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	60歳（55～64歳）一人平均残存歯数	目標値	23.0	24.0	24.0	24.0	本
	式・定義	島根県歯と口腔の健康づくり計画の目標（平成38年度25本） 達成に向けた経過値（平成33年度24本）	取組目標値					
			実績値	23.4				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	4,228	4,579
うち一般財源 (千円)	1,113	1,299

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

計画に基づく、60歳の一人平均残存歯数の平成28年度までの経過目標である23本は達成し、着実に残存歯数は改善に向かっている。

- ・歯周病唾液検査実施数：141名
- ・カミング30セルフチェックシートによる啓発：1,137名
- ・親子のよい歯のコンクール県大会出場者数：6組
- ・8020よい歯のコンクール県大会出場者数：142名

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・島根県歯科医師会の協力による県民残存歯調査の実施により、県民の残存歯数や歯周病等について把握し、今後の取組課題が明確になった。
- ・歯の喪失の原因となる歯周病を効率よく発見するため、「歯周病唾液検査」の普及や実施の拡大について、経営団体や保険者と協力し、啓発を行った。
- ・奥歯を守るカミング30セルフチェックシートを活用した啓発をイベント等でを行い、県民の意識が高まった。
- ・親子のよい歯のコンクールや8020よい歯のコンクールの実施により、マスコミ関係の関心が高まり、多くの啓発が行われ、県民が歯と口腔の健康づくりを考える契機となった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
40歳未満での進化した歯周病を有する者（歯周ポケットあり：CPI3、4）が20%弱あり、40歳代になると40%以上に急増する
30歳代の一人平均むし歯数は、ほぼ横ばいであり、10本以上のむし歯を有する。

②困っている状況が発生している「原因」
歯周病について、知識不足や自覚症状がないために気づかないことが多い
歯科健診の習慣が定着していない

③原因を解消するための「課題」
かかりつけ歯科医をもち、定期受診への働きかけ
働き盛り世代への啓発強化のため、保険者や事業主の理解促進、連携の強化
歯周病唾液検査やカミング30セルフチェックシート活用による啓発の推進

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

第二次島根県歯と口腔の健康づくり計画を策定し、関係機関と共に県民のQOL向上に向けて8020達成を目指した、さらなる取組を推進する。早期8020達成のため、歯周病唾液検査の普及、知識の提供により歯周病の早期発見、早期治療につなげる。大臼歯（奥歯）が他の歯より早期に失われる傾向にあり、奥歯を守り、不具合を早期に見つけるため、「カミング30セルフチェック」の普及を図る。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--